

☆2015年「芥川ウォーキング」

日 時 : 2015年11月14日(土) 9:45~13:40

開催場所 : 高槻市 原公民館と周辺

参加者数 : 会員 4名、会員の家族 1名、地区委員 4名、合計 9名。

テーマ : 「芥川・原の自然と歴史を学ぼう」

主催 : 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク(芥川倶楽部)に
松愛会高槻支部は構成団体として実施。

参加費 : 無料

開催主旨 : 高槻市内を流れる身近な芥川流域の自然と歴史を見聞し理解を深め、会員の健康づくり、
加えて高槻市内の一般の人たちとの交流の場づくりとして開催。

内 容 : 開催場所はJR高槻駅からバスで20分で到着する原盆地。現地ガイドとして松愛会会員の
片山氏に加わっていただき、現在も当時の面影を残す歴史的街道と旧跡や神社と趣の
ある風景を巡りながら、説明をしていただいた。

当日の天気が雨天となる予報だったこともあり参加者は予定よりも減少したが、高槻市の
公報誌を通じて参加した一般市民を含めて40名ほどが2班に分かれ、昼食をはさみ、
約3kmのウォーキングを、見どころある拠点での説明を受けながら巡り、楽しんだ。
午前のウォーキング後、公民館で原地区の片山さんから原の歴史とご本人の少年時代の、
村の様子や、経験を紹介していただいた。

昼食は災害非常食の試食を兼ねたものを、スタッフに炊き出ししていただき、中締めとした。
午後は約6割の人で雨中ウォーキングとなったが、原地区の南端 上ノ口で解散した。

コース中、かつて街道の運搬手段に頼った牛の飼養と、労をねぎらうために奉納された
牛地蔵を現在も地域の人たちが中心に祀られ また、歴史のある八坂神社では、春秋の祭りが
賑やかに開催されており、地域の人たちが村を守り続けている様子がうかがえた。

また、寒天小屋や、酒蔵など 近年まで栄えた遺産が残っているなど、ガイドいただいてこそ
関心がわくものも多々あり、コンパクトながら見どころの多いウォーキングとなった。

